



上島町

議会だより

No. 11
2008年3月

編集 上島町議会広報編集委員会

発行 上島町議会

〒794-2592 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削210番地 TEL 0897-77-2500



優良議会として全国町村議会議長会より表彰状授与 上島町議会を代表して田窪議長が受賞

2月12日の愛媛県町村議会議長会定期総会において伝達される。

主な内容

- 一般質問 2P
- 優良議会表彰状 5P
- 議員報酬削減 6P
- 意見書提出 7P
- 議会の活動 8P

12月定例議会

一般質問

12月25日に招集された第4回定例会において、8名の議員が一般質問を行いました。質問内容と答弁の要旨は次のとおりです。

(掲載の順序は質問順で、記事の内容は基本的に質問議員が編集しています。)

濱田勝祐議員



生名・弓削中学校の統合での学校名の決まったいきさつを説明せよ

Q 統合準備委員会の報告では、校名を上島

町立弓削中学校とするとあり、生名地区住民は、大変不満であり、上島町は対等合併でありながら、何もかも弓削名を使用することは将来、岩城と統合するときもかなり反発があるのではないかと思われま。弓削名になったいきさつを説明して下さい。

A (藤川教育課長)

両校のPTA、自治会など22名で統合準備委員会を設置し、慎重かつ綿密に審議を重ね、様々の意見等有りましたが、最終的に「上島町立弓削中学校」ということに決定しました。

Q 生名での説明会には相当のやり取りがあったが校歌でも式典に参加して生徒と一緒に歌いながら昔を思い出し胸にじんときるものがあり、なくなること

は一抹の寂しさがある。全ての意見を取り入れられないことは承知していますが、校名が変

わるというのは夢にも思わなかった。例えば上島中学校として、上に順番を付けることは支障はないと思う。

A (藤川教育課長)

弓削・生名両校のみの統合で、上島中学校というのは早計で、頭に第一、第二、第三とつける案も出ましたが岩城や魚島まで波及させることは時期尚早という意見も有りまして、新たな弓削中学校の誕生ということをご理解いただきたいと思えます。

Q 納得できる答弁ではないが、生名の住民は不満を持っていることを頭に置いて下さい。

稲浦住宅の建設はいつ頃になるか

Q 住宅建設も西浦が終わり今恵生地区が進行中ですが稲浦住宅はいつ頃か又建物は西浦恵生地区のような2棟

続きか又マンション型か。

A (濱中産業建設課長)

現在、旧生名村時代に策定された「ストック総合活用計画」に基づいて建替事業を実施しており稲浦住宅の建替時期等についての明記はされていません。今年中に上島町全体のストック計画を見直し、現在、稲浦住宅を含めてストック計画の策定を進めているところで

Q 町としても稲浦住宅は老朽化が著しく、建替の必要性は十分認識しております。3月末には示す事が出来るよう計画中でございます。

稲浦はオール電化か又、自由に冷暖房を使用しても構わないようにするのか、全てオール電化というのも困る事もあるのではないかと。

A (濱中産業建設課長)

オール電化についてはまだ検討中です。ガス

と電化の二本立てになりますとコストが非常に高くつきオール電化なのかガスなのか建物全体で考えたいと思います。これも3月末頃には計画が出来上がります。

土居計彦議員



上島町総合計画(前期基本計画)のうち20年度に実施するものは何か

Q 本計画も3年目に入るが、上島町を元気にするための動きが見えてこない。20年度は将来につながる魅力あるテーマに当初予算を配分して、推進してもらいたい。

A (上村町長)

産業振興についても、

造船業界のインフラ整備を行い、将来的には500名以上の新たな雇用の場が計画されており。

A (松浦健康推進課長)

医療体制の充実では因島地区・今治越智地区の救急施設運営費の助成を行い、2次救急医療体制の確保に努めています。町内の公共施設にAEDの計画的な導入も予定しています。妊婦健診の公費負担を2回から5回に拡充し、新生児聴覚検査を全額公費負担とするなどお知らせのとおりでございます。

A (村上産業振興課長)

農業振興では田舎ぐらし農業体験―高齢者も可能な農業系づくり、後継者の支援、農産物の産地化ではレモン・せとか・たまみ等の安定生産を目指して推進しています。観光客誘致のための景観づくり、グリーンツーリズムの振興についても計画に

沿って推進し、修学旅行受け入れについても検討いたします。

猪被害への今後の取り組みについて

Q 鳥では経験したことがない猪による柑橘木の枝折りや果実の被害が続いている。共存しかないのなら、荒畑、放置里山の改善もしてゆく必要がある。銃による捕獲、箱罠設置、防護柵の設置費補助など、今後の取組みをお答えいただきたい。

A(村上産業振興課長)

今年度の銃による捕獲は10頭、箱罠を4基設置しています。「上島町農業生産被害対策費補助金制度」で電気柵防護柵設置整備の補助を19・20年度実施いたします。(10万円かかった場合1/2の5万円補助)。上島町としては20年度に被害防止計画を策定し、今後の対策への実施に向け

て、取り組む予定です。国の財政上の措置も講じられるようになるので、イノシシだけでなく、鳥獣被害防止に向けて協議会を立ち上げる計画もしております。

竹林秀夫議員



「上島町スクールガード並びに地区見守り隊」について

Q 近年、女児殺害事件、飲酒運転による交通事故が多発し、社会問題となる中、弓削地区スクールガードの指導の下、弓削地区見守り隊が29の協力団体により結成されましたが、児童、生徒の登下校のパトロールのみならず、地域住民の日常生活の安心、安全活動に貢献

出来るよう目に見える具体的な活動は。

A(小澤教育長)

「弓削地区見守り隊」の腕章、たすきやステッカーを車につけて犯罪の抑止力につなげています。又黄色のベストを着用し交通事故の防止や通学路での交通指導も行っています。他地区も「岩城学校安全見守り隊」「生名安全見守り隊」「魚島子供見守り隊」が各種団体と協力し、見守り活動を実施しており、今後も安心、安全な町づくりを総合的に進めていく計画です。



宮脇政敏議員



環境美化について

Q 岩城本島では各地の谷間に可燃ゴミ、家電、自転車等、大小

色々なゴミが捨てられ観光客からも疑義が出ると思われる。多くあるのは大島農道、西部遊歩道、赤石ダム周辺、幸峠の手前等です。あまり見苦しいのでポランティアの人達によって少しずつ片付けようと月1回位で手掛けの事にしました。岩城支所の係に相談したらゴミ袋は無料提供、不燃物は日曜以外はクリーンセンター持ち込みとの事でしたが、それでいいか。又菰隠温泉手前海岸には旧橋高の遊覧船繋連橋の残骸が

放置され行政の責任で処理すべきとの意見があるが観光の町づくりの一環で撤去の考えはないか。

A(丸山生活事業課長)

概ね支所の回答のとおりです。住民・各種団体・事業所、行政等が一体となつて啓発や撲滅運動を計画したいと思えます。

A(村上産業振興課長)

旧橋高が倒産後、放置状態です。今治地方局より現地調査に2回(11/6・12/5)訪れ、再利用の許可について前向きに検討するとの回答を得ています。町として、海域占用許可の要請書を作成し、これまでの経過報告を含め民間での許可の要望をしております。

国の交付税見直しについて

Q 国の行財政改革で自治体に対する予算抑制や公共事業の縮小と

共に国の査定基準見直し発表では経常経費+特別会計+第3セクターの経費、起債限度額の抑制を含めアウトラインの設定で町財政が益々苦しくなると思われるが町長は安定健全化に向けて、どう対応し住民のくらしと福祉を守っていくのか、その方向性と具体策があれば聞きたい。今町財政は国の限度額に対し、どの辺に位置するのか?町民が苦勞して納めた年金が宙に浮き後期高齢者医療制度で介護保険と共に二重に年金から天引され加えてガソリン灯油の高騰で家計は益々苦しくなっているが。

A(上村町長)

交付税につきましては、最終的な決定はなされておりません。政府案は出されましたけれども参院を通過しないと決定されませんので交付税に対してどう対応するかという部分はま

だ対応ははっきり答えられない部分でございます。

A (山下総務課長)

上島町の実質公債比率は15.2%。警戒ラインは18%。制限されるのは25%以上です。県平均は16.3%となっていますので、現段階では、健全と言えます。

原 博彦 議員



立石港改修及び公共事業計画について

Q 立石港改修に際し、生名地区の柑橘集出荷場の移転問題は、また、その他色々な公共事業においても、予算化の前、計画変更が可能な時期に、関係者及び議会の意見を聞く機会を持つべきでは。

A (上村町長)

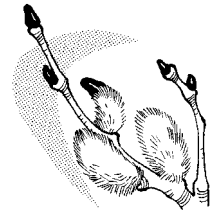
大型の公共事業については以前より全員協議会等において議会に対し、事前説明を行っており、細かいものについては当初予算の前において質問等で受けております。今後も同様に進めてまいりたいと思っております。

A (柏原生名支所長)

農産物集荷場は生名果樹同志会の拠点施設として、柑橘類の集荷作業や肥料、農薬等の仕入れ、販売など生名地区の農家にとって欠かすことの出来ない施設であることは十分認識しております。移転整備に関しては使用される果樹同志会とも十分に協議調整し、来年度中に具体化に向け進めていきたいと考えます。

Q 農家の方々も高齢化等の問題もあり、早い時期に方向を示してほしい。公共事業については、全て形が決まった上での説明ではな

く、関係者の方々の要望が聞き入れられる時期に説明をお願いする。



寺下 満憲 議員



公共施設有効利用や施設の跡地の対策を急げ

Q 町内には、遊休施設、施設跡地等があります。旧佐島小学校は、新しい利用計画の方向付けがされていますが、旧消防庁舎、今後遊休施設となるごみ処理施設また生名中学校利用計画案がありましたら

示していただきたい。また、生名地区立石会館は耐震的に見て危険を感じるがその対策は。そして、立石港周辺整備に伴う農産物集出荷場の新しい計画について答弁を求めます。

A (上村町長)

現在、町内の遊休施設、土地について有効利用計画や売却の指示を出しており、担当からの最終回答を待っています。

A (柏原生名総合支所長)

ごみ処理施設、生名リサイクルセンター跡地利用計画は粗大ごみ持ち込み受入場所・その仮置場、また車庫として利用します。生名中学校については廃校等の事務手続きが完了してから具体的な計画案の時点で事前に説明協議をさせていただきます。立石会館については、2階から上部を解体撤去する方法で当初予算要求し、措置するよう進

めております。農産物集荷場については、移転整備の方向で進めております。

ごみの出し方、収集委託に問題はないのか

Q 上島町クリーンセンター完成で町内(魚島地区除いて)で統一的なごみの出し方がスタートしますが、今回のごみの出し方(案)では大部分のごみが焼却されるが、家庭から出る「ごみ」は分別すれば資源化が図れる。ごみ減量化や分別収集についての考え方を示せ、また、収集方法の民間委託についても報告を求めます。

A (丸山生活事業課長)

町は焼却施設の整備にあたり、循環型社会形成推進地域計画が承認され、国からの交付金を受けて整備が実現いたしました。その計画の中で古紙類、缶類、

金属類は、今後も資源ごみとして分別収集します。台所ごみ、ペットボトルなどの燃やせるごみは全て焼却したうえで、その焼却灰を県廃棄物処理センターで溶融処理を行い、道路の路盤材等にリサイクルすることになりました。またビン類はこれまでどおり、埋め立て処分としております。民間委託は、公募で地区毎に受託者を募集します。申込資格は、条件にあった町内に住所を有する個人及び法人です。

A (上村町長)

ペットボトルを燃やすことにつきましては、先ほどの意見のとおりでございますが、まず一点はダイオキシン等々抑える技術が発達したことで、また経費的に安く上がることで、その方向として殆どの市町村が焼却に回していることをご理解いただきたいと思います。



て 中学校の総合について

Q 来年4月より、弓削・生名中学校が統合されますが、現在において、保護者の方から学校名、制服等又、通学にかかる交通便について、多様な意見をお聞きしますので、今の進捗状況をお聞きします。又、魚島の小中学校の給食問題についても説明して下さい。

A (藤川教育課長)

1日で、校舎は現在の弓削中学校の校舎を活用いたします。制服については、在校生はそのまま現在の制服を着用し、新1年生以降は、新たに決められた制服を使用する事となります。また、校歌・校旗・校章につきましては、現在の弓削中学校のものを継続して使用いたします。通学方法については、2とおりのルートを設定いたします。1つは、生名港から弓削港発着の青丸直行便ルート、もう1つは生名立石港から土生長崎間との乗り継ぎのルートという2便をセットさせていただいております。続いて魚島地区学校給食業務の進捗状況については、3学期から実施出来る運びになりました。先月保護者への説明会、また試食会も完了いたしましたので、準備万端整えて予定どおり新年1月9日から開始出来る

状況でございます。

原山公男議員



臨時職員について

Q お隣の国、韓国では非正規社員は2年以上は正規社員となるような法律が有ります。法律や条例は雇われる者、弱い者の立場に立つて、運用されるべきだと思います。答弁もそうあって欲しいものです。必要な人員ならば、何年か以上を定めて、単労職又は正規職員にすべきではないか。上島町クリーンセンター完成に伴い永年働いていただいています生名リサイクルセンター臨時職員はどうなるのか。生計を立てている人が

殆どでございます。また生名中学校臨時職員も併せての答弁を求めます。

A (上村町長)

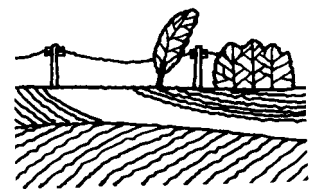
私の公約において、「今後はワークシェアリングに取り組むこと。民間で出来る業務は民間に委ね、地元で出来る仕事は地元企業に責任を持って請け負っていただく。」と機会ある度にお伝えをさせていただきました。細かい内容につきましては、担当からお答えします。

A (山下総務課長)

上島町の職員の採用につきましては、毎年定年退職等で辞めた職員の補充を「上島町定員適正化計画により、平成17年度から平成21年度までの5カ年間で10%、26人削減を目標としていることから、必要な人数だけ試験により確保しています。今後とも町として、この方針でいくことには変

わりありません。クリーンセンター完成に伴う生名リサイクルセンターの臨時職員については、来年度より民間委託方式に切り替えるため、また生名中学校の臨時職員についても、来年度より統合することから、これらの部署

には、臨時職員を置く予定はありません。



表彰状

愛媛県上島町議会殿

貴議会は地域の振興発展及び住民福祉の向上のため議会の活性化に努められました

その功績は顕著であり他の範とするにふさわしいものであります
よってここにこれを表彰します

平成二十年二月六日

全国町村議会議長会

会長 原 伸



議員報酬の引き下げ実施！！

4月1日から10%削減

2月1日招集された第1回臨時議会において議員発議（提出者・村上 要議員、賛成者・岡島政則議員、原 博彦議員）により、「上島町議会議員等報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例」が上程され、賛成多数により、原案のとおり可決されました。

議員自ら議会議員の報酬額を率先して引き下げ行政推進の活力の増強に資する目的で提案されました。これにより、年間約600万円が節減されることとなります。

この条例の施行は、平成20年4月1日となっています。

議員報酬月額改正

(単位：千円)

	改正前	改正後
議 長	260	234
副議長	210	189
議 員	190	171

意見書提出

道路特定財源の暫定税率維持等を求める意見書を提出いたしました。

2月1日開催の第1回臨時議会に意見書提出の案件が提案され、賛成多数で可決いたしましたので、2月1日付けの意見書を衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、経済財政政策大臣にそれぞれ提出いたしました。

意見書の内容は次のとおりです。

道路特定財源の暫定税率維持等を求める意見書

今日、我が国経済は戦後最長の景気回復局面にありながらも、地方にあっては、農林水産業や地場産業の低迷、さらには、公共投資の削減などから景気回復が遅れており、都市と地方の格差が拡大していると言わざるを得ない。

愛媛県においては、さらに、高速道路の未整備区間を持つ南予地域と、整備が進んだ東中予地域との間や離島・過疎地域における道路事情等については、産業構造の相違とも相まって地域間格差も拡大している。

道路は、地域の自立や活性化に必要な不可欠な根幹的社会基盤の1つであり、全国に比べ道路整備が遅れている愛媛県では、今後の道路整備の着実な推移は多くの県民の望むところであり、とりわけ高速道路の延伸については、地域経済の疲弊する南予地域へのカンフル剤としても、愛媛県の最重要課題の1つとなっている。

このような中、12月7日の政府・与党合意「道路特定財源の見直しについて」によれば、「真に必要な道路整備の計画的な推進」のため、平成20年度からの10年間で、高速道路の整備をはじめとする各施策課題の重点方針に基づく目標を達成するために必要な事業量59兆円を計上するとともに、地方の厳しい財政状況を考慮した地方道路整備臨時貸付金制度の創設や、さらに高速道路の料金引き下げなど、既存高速道路ネットワークの効率的な活用・機能強化など道路関連施策として2.5兆円が盛り込まれているところである。

そのため、これから「真に必要な道路」の整備を求める我々地方においては、安定的な財源の確保のもとで、この計画の着実な推進を強く望むものである。

よって、国におかれては、地方の声や道路の実情を十二分に把握され、道路特定財源については、次のとおり措置されるよう強く要望する。

記

- 1 都市と地方の格差を是正するため、「道路の中期計画（素案）」の計画期間である今後10年間は、道路特定財源の暫定税率を維持し、道路整備の財源として確保すること。
- 2 さらに、遅れている地方の道路整備を引続き強力に推進するため、地方道路整備臨時交付金制度を継続・拡充するとともに、交付割合を向上させるなど、財源の地方への重点配分を行なうこと。
- 3 また、道路特定財源を、極めて割高な本州四国連絡道路はもとより、その他の高速道路の料金引下げなどに充当することにより、利用者の利用し易い高速道路料金制度を確立すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年2月1日

愛媛県上島町議会

平成19年度優良議会受賞

全国町村議会議長会から優良議会として、表彰されました。

平成20年2月12日開催の愛媛県町村議会定期総会において伝達され、田窪議長に表彰状と記念品が授与されました。



上島町議会を代表して田窪議長が受賞

議会の傍聴について

議会の傍聴はどなたでもできます。

定例議会は3月・6月・9月・12月に開催され、臨時議会は必要な都度開催されます。

なお、定例会や臨時会の開会日は、決定次第上島町ホームページの議会情報コーナーに掲載しています。

《上島町ホームページ <http://www.town.kamijima.ehime.jp>》

議会の活動 (前号掲載分以降)

月	日	活動内容	月	日	活動内容
11	22	第5回臨時会 (全員)	1	3	成人式 (14名)
11	22	第12回全員協議会 (全員)	1	4	愛媛県町村議会議長会年賀交歓会 (議長、松山)
11	29	第26回離島振興市町村議会議長会	1	6	上島町商工会年賀交歓会 (14名)
11	30	全国大会及び全国過疎地域自立促進定期大会 (議長、東京)	1	11	因島地区新年互礼会 (代理副議長)
			1	11	第4回愛媛県町村議会議長会 (議長、松山)
12	2	地域の自立と総合連携のあり方に関する意見交換会 (8名、西条市)	1	13	生名島一周駅伝競争大会
			1	18	JA越智今治岩城支店みかん祭 (議長)
12	3	第3回愛媛県町村議会議長会 (議長、松山)	1	20	弓削駅伝大会 (雨天中止)
12	4	人権フォーラム (2名、今治)	1	25	第1回全員協議会 (全員)
12	17	第13回全員協議会 (17名)	1	27	上島町消防出初式 (12名)
12	25	第4回定例会 (全員)	2	1	第1回臨時会 (17名)
12	25	第14回全員協議会 (全員)	2	4	少年式 (14名)